

生活基盤施設耐震化等交付金 事後評価書（令和3年度評価実施分）

1. 交付対象事業の進捗状況

水道施設等耐震化事業		計画期間：H27～R1					総事業費 (千円)	交付対象事業費 (千円)	交付額 (千円)	進捗状況	備考			
事業主体 (水道事業者)	事業箇所 (市町村)	事業内容		事業期間										
				H27	H28	H29	H30	R1						
10 福知山市水道	福知山市	計画	<福知山市水道管路緊急改善事業（配水本管）> 経年劣化した堀山第3配水系統配水管（650m）を更新。							120,000	120,000	40,000	継続	埋設物の状況が予想と異なり計画の変更に期間を要したこと及び道路管理者との協議に不測の日数を要し、1年延長となった。
		実績	上記事業について、計画区間を含めた配水管（659m）の更新を実施した。							122,109	120,000	40,000		
31 和東中央簡易水道	和東町	計画	<和東町和東中央統筒簡易水道> 既設の3簡易水道のうち、西部地区及び木屋地区の各簡易水道を廃止して和東中央簡易水道へ統合。							394,212	353,762	117,920	完了	施設の更新・改良工事の増加により事業費が増額し、関係する道路工事や地元との調整等に不測の時間を要し4年延長となった。
		実績	上記事業について、簡易水道事業の統合を実施した。							1,069,717	840,309	280,103		
37 京都府用水供給	京都府	計画	<京都府水道管路緊急改善事業> 送水管路約75kmの内、非耐震管が約45km（内約12kmが経年管）であり、耐震管に更新することにより、安心・安全な給水体制の確保を図る。							6,128,043	5,956,04	1,985,346	継続	地域施設との作業行程の調整により、1年延長となった。
		実績	上記事業について、4.9Kmの送水管の更新を実施した							5,248,114	2,578,571	859,577		

2. 事業効果の発現状況、評価指標の発現状況

I 事業効果の発現状況	【福知山市】計画に沿って、659m（計画650m）の布設替えを実施。R1年度末時点で耐震適合率34.5%（計画34.4%）を達成。					
	【和東町】計画に沿って、3簡易水道の統合を実施し、和東町における簡易水道数を1事業とする目標を達成。					
	【府営水道】計画に沿って、送水管路の更新・耐震化を実施し、R2年度末で耐震化率が47.3%となった。					
II 評価指標の達成状況	指標	目標及び実績			達成評価（又は目標値と実績値に差が生じた原因）	
	福知山市-2 福知山市水道事業における配水本管の耐震適合率	当初現況値	31.7%	(H31年度)	1年延長となったが、予定の値を達成。	
		目標値	34.4%	(R1年度)		
		実績値	34.5%	(R2年度)		
	和東町-1 和東町内における簡易水道事業数	当初現況値	3	(H27年度)	4年延長となったが、予定の値を達成。	
		目標値	1	(R1年度)		
実績値		1	(R2年度)			
府営水道-2 府営水道事業における送水管路の耐震化率	当初現況値	40.1%	(H25年度)	令和4年度の完了に向け事業実施中。		
	目標値	54.3%	(R4年度)			
	実績値	47.3%	(R2年度)			
III 評価指標以外の事業効果の発現状況 (必要に応じて記載)	【和東町】簡易水道の統合により、西部、木屋地区における水源枯渇の課題を解消することができ、施設の統廃合、更新や改良を行うことで施設管理や経営の合理化が図れた。また、統合に合わせて実施した遠隔監視システムの構築により緊急時等に早急な対応が可能となり、地域住民へ「安心」「安全」でおいしい水を安定供給することが可能となった。					
	【府営水道】今回更新・耐震化した送水管を含め、異なる河川から取水する3浄水場の送水管路が広域ポンプ場を中心に接続され、3浄水場が相互にバックアップ可能なシステムを構築しており、送水管路の更新・耐震化事業を進めることで、災害時等にも、より安定的に送水することが可能となる。					

3. 今後の方針等

【福知山市】引き続き堀山第3配水系統の配水本管の耐震化を進める。令和5年度を目途に、配水本管全体の耐震適合率を57.3%とし、より安定した水の供給を図る。
【和東町】老朽化した配水管の更新や、配水池の統廃合及び更新等を計画的に進め、引き続き、飲料水の安定供給及び経営の合理化に努める。
【府営水道】引き続き送水管路の更新を進め、安心・安全な給水体制の確保を目指す。

生活基盤施設耐震化等交付金 事後評価書（令和2年度評価実施分）

1. 交付対象事業の進捗状況

水道施設等耐震化事業		計画期間：H27～R1		事業期間					総事業費 (千円)	交付対象事業費 (千円)	交付額 (千円)	進捗状況	備考	
事業主体 (水道事業者)	事業箇所 (市町村)	事業内容		H27	H28	H29	H30	R1						
3 京都市水道	京都市	計画	＜京都市緊急時用連絡管＞ 蹴上浄水場系と新山科浄水場系の幹線配水管を結ぶ連絡幹線配水管の整備。							1,377,436	1,328,188	332,047	継続	
		実績	上記事業について、計画区間の連絡幹線配水管を整備した。							1,384,734	891,704	222,926		
6 京都市水道	京都市	計画	＜京都市水道管路緊急改善事業＞ 老朽化した基幹管路の更新及び耐震化を図る。							1,262,161	899,795	299,930	継続	H30年度から新山科浄水場導水トンネル築造工事を補助対象事業に加えたため、事業費が当初計画から大きく増加
		実績	上記事業について、計画区間の基幹管路の更新及び耐震化を実施した。							4,170,101	2,266,875	755,625		
7 京都市水道	京都市	計画	＜京都市緊急遮断弁（松ヶ崎浄水場高区1・2号配水池）＞ 松ヶ崎浄水場高区1・2号配水池における緊急遮断弁の設置。							25,677	25,677	6,419	完了	
		実績	上記事業について、緊急遮断弁を設置した。							32,670	25,677	6,419		
8 京都市水道	京都市	計画	＜京都市基幹水道構造物の耐震化事業（補強）＞ 蹴上浄水場第1最高区配水池及び新山科浄水場高区2号配水池の耐震化を図る。							135,486	112,536	28,134	継続	
		実績	上記事業について、計画どおり配水池の耐震化工事を実施した。							115,294	112,536	28,134		
9 福知山市水道	福知山市	計画	＜福知山市水道管路緊急改善事業（送水管）＞ 基幹管路である堀山配水系統における送水管が老朽化しており、送水管を耐震管に更新することにより、安心安全で安定した水の供給を図る。							501,002	353,360	117,786	完了	H30年度の委託工事において、別箇所での自然災害に伴う対応のため工程に遅れが生じたため、1年延長
		実績	上記事業について、計画区間の送水管の更新を実施した。							451,583	256,329	85,443		
15 舞鶴市水道	舞鶴市	計画	＜舞鶴市水道管路緊急改善事業＞ 経年劣化した基幹管路（配水本管）（3.8km）を更新及び耐震化を図る。							694,764	694,764	231,588	継続	
		実績	上記事業について、基幹管路（配水本管）の更新及び耐震化を実施した。							676,557	610,452	203,484		
16 東八田簡易水道	綾部市	計画	＜東八田簡易水道統合整備事業＞ 簡易水道事業を統合し、水道水の安定供給を図ると共に、経年劣化の進む配水管を更新し、管路の耐震化率の向上を図る。							154,248	143,038	47,679	完了	
		実績	上記事業について、計画どおり送・配水管の整備・更新を実施							142,536	133,096	44,365		
17 山家西簡易水道	綾部市	計画	＜山家西簡易水道事業＞ 簡易水道事業を上水道へ統合し、水道水の安定供給を図ると共に、経年劣化の進む配水管を更新し、管路の耐震化率の向上を図る。							993,091	916,188	366,475	完了	事業用地の確保、地元協議、道路占用等の関係機関協議に不測の時間を要し、3年延長
		実績	上記事業について、計画どおり送・配水管の整備・更新を実施							990,952	932,715	373,084		
23 向日市水道	向日市	計画	＜向日市老朽管更新事業＞ 向日市内の基幹管路の耐震化や老朽化対策（導水管410m、配水本管2,350mの布設替）を実施し、市民生活の基盤強化を図る。							617,000	617,000	154,250	完了	
		実績	上記事業について、基幹管路の耐震化や老朽化対策を実施した。							542,910	429,148	107,287		
27 南丹市水道	南丹市	計画	＜南丹市重要給水施設配水管＞ 重要給水施設への老朽管（1,000m）を更新し、耐震化を図る。							166,375	100,000	25,000	継続	
		実績	上記事業について、901.2mの老朽管の更新を実施した。							183,615	83,200	20,800		
30 久御山町水道	久御山町	計画	＜久御山町重要給水施設配水管＞ 重要給水施設に接続する管路の耐震化を図り、災害・緊急時における安心・安全な給水を確保。							118,175	109,265	27,313	継続	
		実績	上記事業について、計画区間の配水管の耐震化を実施した。							134,755	88,596	22,148		
34 京丹波町水道	京丹波町	計画	＜京丹波町重要給水施設配水管＞ 重要給水施設へ供給している管路を耐震化し、非常時における上水の確保を図る。（重要給水施設配水管5.5kmを更新）							283,176	240,004	60,000	継続	
		実績	上記事業について、計画区間の配水管の管路更新を実施した。							222,339	142,004	35,500		

2. 事業効果の発現状況、評価指標の発現状況

I 事業効果の発現状況	【京都市】計画に沿って連絡幹線配水管1.17kmを整備し、連絡幹線配水管整備率23.4%の目標を達成。				
	【京都市】計画に沿って基幹管路の更新及び耐震化を実施し、主要管路の耐震適合性管の割合は54.5%となった。				
	【京都市】計画に沿って緊急遮断弁を設置し、地震等の災害に対して、応急給水可能な体制を確保できるようになった。				
	【京都市】計画に沿って配水池の耐震化工事を実施し、蹴上浄水場第1最高区配水池、新山科浄水場高区2号配水池は令和2年度に耐震化完了の予定。				
	【福知山市】計画に沿って、基幹管路である堀山配水系統における送水管1,025mの布設替えを実施し、耐震適合率が67.0%となった。				
	【舞鶴市】計画に沿って基幹管路である配水本管3.8kmの布設替えを実施し、R1年度末時点で耐震適合率50.5%の目標を達成。				
	【綾部市】計画に沿って簡易水道の統合のための整備を行い、経年化した管路の更新を実施し耐震適合率60.0%の目標を達成し、水道水の安定供給を図れた。				
	【向日市】計画に沿って、基幹管路1,570mの布設替えを実施し、耐震適合率は27%へ向上させることができた。今後は令和9年度末に基幹管路の耐震適合率を50%とする新たな目標に向けて耐震化へ取り組んでいる。				
	【南丹市】配水管901.2mの布設替えを実施し、管路の経年化率は2.35%、管路の耐震化率は1.56%に向上し、重要給水施設への管路の耐震化が推進できた。				
	【久御山町】計画に沿って、重要給水施設に接続する管路の耐震化を実施し、耐震適合率25%の目標を達成。				
【京丹波町】計画に沿って、配水管約2.9kmの布設替えを実施し、重要給水施設までの配水管の耐震適合率は12.4%に向上した。					
II 評価指標の達成状況	指標	目標及び実績			達成評価(又は目標値と実績値に差が生じた原因)
	京都市-3 京都市水道事業における連絡幹線配水管整備率	当初現況値	0%	(H28年度)	予定の値を達成。
		目標値	23.4%	(R1年度)	
		実績値	23.4%	(R1年度)	
	京都市-4 京都市水道事業における主要管路の耐震適合性管の割合	当初現況値	45.5%	(H27年度)	予定の値を達成。
		目標値	49.5%	(H29年度)	
		実績値	54.5%	(R1年度)	
	京都市-5 京都市水道事業における導水施設の耐震化率	当初現況値	26.8%	(H30年度)	-
		目標値	26.8%	(R1年度)	
		実績値	26.8%	(R1年度)	
	京都市-8 京都市水道事業における浄水施設の耐震化率	当初現況値	51.0%	(H30年度)	-
		目標値	51.0%	(R1年度)	
		実績値	51.0%	(R1年度)	
	京都市-9 京都市水道事業における配水池の耐震化率	当初現況値	28.1%	(H30年度)	予定の値を達成。
		目標値	31.3%	(R1年度)	
		実績値	31.3%	(R1年度)	
	福知山市-1 福知山市水道事業における堀山配水池系統の耐震適合率	当初現況値	0%	(H28年度)	補助対象外の工事区間において、耐震管への更新ができなかったため、耐震適合管路延長の実績が当初計画より減となった。
		目標値	81%	(H29年度)	
		実績値	67%	(H30年度)	
	舞鶴市-3 舞鶴市水道事業における基幹管路の耐震適合率	当初現況値	47.0%	(H29年度)	予定の値を達成。
		目標値	51%	(R1年度)	
		実績値	52%	(R1年度)	
	綾部市-1 綾部市簡易水道事業における管路の耐震化率	当初現況値	51%	(H27年度)	予定の値を達成。
		目標値	60%	(R1年度)	
		実績値	60%	(R1年度)	
	向日市-3 向日市水道事業における基幹管路の耐震適合率	当初現況値	18%	(H27年度)	事業着手後、漏水等により、市民生活に大きく影響を及ぼす箇所を優先して工事を進めていたところ、住宅地内等において想定以上に事業費や時間を要したため、当初予定していた布設替の延長には至らなかったが、現在は平成29年度に策定した向日市水道事業経営戦略に基づき、令和9年度末に50%となるよう、新たな目標に向けて取り組んでおり、順調に推移している。
		目標値	35%	(R1年度)	
実績値		27%	(R1年度)		
南丹市-3 南丹市水道事業における管路の経年化率	当初現況値	2.78%	(H30年度)	現場の状況を踏まえて、施工計画(令和元年度～令和5年度)の変更を行った。	
	目標値	2.33%	(R1年度)		
	実績値	2.35%	(R1年度)		
南丹市-4 南丹市水道事業における管路の耐震化率	当初現況値	1.14%	(H30年度)	現場の状況を踏まえて、施工計画(令和元年度～令和5年度)の変更を行った。	
	目標値	1.58%	(R1年度)		
	実績値	1.56%	(R1年度)		
久御山町-1 久御山町水道事業における重要給水施設の接続率	当初現況値	0%	(H28年度)	予定の値を達成。	
	目標値	25%	(R1年度)		
	実績値	25%	(R1年度)		
京丹波町-2 京丹波町水道事業における配水管の耐震適合率	当初現況値	11.0%	(H29年度)	災害復旧工事や道路改良工事に伴う布設替・移設工事を優先せざるを得なかったため、重要給水施設配水管の更新工事の進捗率が低くなった。耐震適合管延長が大幅に増加したのは、既設管の一部で耐震適合性が確認されたため。	
	目標値	12.4%	(R1年度)		
	実績値	22.5%	(R1年度)		
京丹波町-3 京丹波町水道事業における重要給水施設配水管の耐震化率	当初現況値	6.1%	(H29年度)	災害復旧工事や道路改良工事に伴う布設替・移設工事を優先せざるを得なかったため、重要給水施設配水管の更新工事の進捗率が低くなった。	
	目標値	18.0%	(R1年度)		
	実績値	12.4%	(R1年度)		
III 評価指標以外の事業効果の発現状況(必要に応じて記載)	【綾部市】事業実施区域では、水源の枯渇や水質悪化・施設老朽化等の課題があったが、必要な水道施設を整備したことにより、安心で安全な水道水の安定供給を確保できるようになった。また、山家西地区では、上水道と統合したことにより、施設の維持管理費の削減・上水道の利用効率の向上につながった。				
	【南丹市】本事業に合わせて単独事業でも耐震管によるバイパス管路1,250mを整備し、地震対策の強化を図った。				

3. 今後の方針等

【京都市】引き続き連絡幹線配水管の整備を推進し、令和4年度には連絡幹線配水管整備率100%を目指す。
【京都市】引き続き基幹管路の更新及び耐震化を推進し、令和9年度には主要管路の耐震適合性管の割合66%、導水施設の耐震化率62%を目指す。
【京都市】引き続き配水池の耐震化を図り、令和9年度には配水池の耐震化率73%を目指す。
【京都市】引き続き浄水施設及び配水池の耐震化を図り、令和9年度には浄水施設の耐震化率100%、配水池の耐震化率73%を目指す。
【福知山市】老朽化した基幹管路である配水本管及び送水管の耐震管への更新を進めることにより、地震等の災害に強く、安心安全で安定した水の供給を図る。
【舞鶴市】引き続き、基幹管路(配水本管)の耐震化を進め、R4年度末には基幹管路耐震適合率を54.2%とし、災害時にも被害を最小限とする強靱な水道施設の整備を図る。
【綾部市】引き続き配水管の耐震化を進め、災害時における給水体制の水準を高める。
【向日市】本市では、令和9年度末に基幹管路耐震適合率50%を目標として掲げている。令和2年度以降は、目標達成に向けて、単独事業として実施していく予定である。
【南丹市】引き続き重要給水施設までの配水管の耐震化を進め、令和5年度を目途に管路の経年化率を1.32%、管路の耐震化率を2.59%とし、大規模地震等の自然災害に備えるとともに平時における事故の発生を抑制し、安定した水の供給を計る。
【久御山町】引き続き重要給水施設配水管の耐震化を進め、令和9年度末に全ての重要給水施設配水管の耐震化を図る。
【京丹波町】京丹波町水道事業ビジョン2020(令和2年度策定)に基づき、引き続き重要給水施設までの配水本管の耐震化を進め、令和6年度を目途に配水管の耐震適合率を26%、重要給水施設配水管の耐震適合率31.4%とし、非常時における水の確保を図る。

生活基盤施設耐震化等交付金 事後評価書（令和元年度評価実施分）

1. 交付対象事業の進捗状況

水道施設等耐震化事業		計画期間：H27～R1					総事業費 (千円)	交付対象事業費 (千円)	交付額 (千円)	進捗状況	備考			
事業主体 (水道事業者)	事業箇所 (市町村)	事業内容		事業期間										
				H27	H28	H29	H30	R1						
22 向日市水道	向日市	計画	＜向日市基幹水道構造物の耐震化事業＞ 浄水処理棟、第3配水池、急速ろ過池、酸化池、高架水槽の耐震化を実施し、市民生活の基盤強化を図る。							101,963	92,963	30,988	完了	高架水槽耐震化工事を単独事業で実施することとしたため、交付対象事業が減額。
		実績	上記事業について、浄水処理棟、第3配水池、急速ろ過池、酸化池の耐震化を実施した。							191,811	54,660	18,220		
24 久美浜東部簡易水道	京丹後市	計画	＜久美浜東部統合簡易水道事業＞ 簡易水道を統合整備し耐震化を進め、経営基盤の強化・維持管理の効率化を図る。 配水池新設1箇所（V=180m <sup>3</sup> ）、ポンプ所改良1箇所、送水管L=370m、配水管L=370m							88,316	86,961	21,740	完了	簡水統合事業を2年延長し実施。配水池の設置場所・構造の変更により当初の事業計画から事業費が増加。
		実績	上記事業について、配水池の新設、ポンプ所の改良、送・配水管の整備を実施した。							277,108	216,311	54,076		
25 久美浜西部簡易水道	京丹後市	計画	＜久美浜西部統合簡易水道事業＞ 簡易水道を統合整備し耐震化を進め、経営基盤の強化・維持管理の効率化を図る。 浄水場更新1箇所（緩速Q=230）、配水池新設2ヶ所（V=162, 90m <sup>3</sup> ）、導水管L=1,600m、送水管L=1,485m、配水管L=6,545m							679,249	652,406	217,468	完了	簡水統合事業を2年延長し実施。詳細な現地調査、管路及び浄水場の詳細設計の結果、当初設計から事業費が増加。
		実績	上記事業について、浄水場の更新、配水池の新設、導・送・配水管の整備を実施した。							882,082	745,474	248,491		
35 与謝野町水道	与謝野町	計画	＜与謝野町水道水源自動監視施設等整備事業＞ 9浄水場の遠隔監視装置と4浄水場の水質計器の整備を行い、遠隔監視システムを再構築することにより、施設の運転管理及び監視の水準を維持しつつ、経費の削減を通じた経営の効率化を図る。							88,111	88,000	22,000	完了	
		実績	上記の事業を計画どおり実施した。							95,051	88,000	22,000		

2. 事業効果の発現状況、評価指標の発現状況

I 事業効果の発現状況	【向日市】計画に沿って、浄水処理棟、第3配水池、急速ろ過池、酸化池の耐震化を実施し、配水池については耐震化施設率100%の目標を達成				
	【京丹後市】計画に沿って簡易水道の再編を実施し、浄水場の更新、配水池の新設、ポンプ所の改良導・送・配水管の更新・整備を行うことで、水道施設の耐震性の向上が図れた。				
	【与謝野町】計画に従って、遠隔監視装置と水質計器の整備を実施し、浄水場の状態監視や濁度の監視が24時間可能となるなど、遠隔監視システムの再構築が完了した。遠隔監視システムの再構築により、運転管理及び監視の水準を維持しつつ、浄水場の巡回監視の頻度を減らすなど、費用の削減を実現し、経営の効率化が図れた。				
II 評価指標の達成状況	指標	目標及び実績		達成評価（又は目標値と実績値に差が生じた原因）	
	向日市-1 浄水施設耐震率	当初現況値	0%	(H27年度)	H28(ろ過池・酸化池)とH29(高架水槽)に計画していた工事を次年度に実施したため、最終年度がH30に延期。H30に高架水槽耐震化工事を発注したが入札が不調となったため、R1に単独事業として実施し、浄水施設耐震率100%達成の見込み。
		目標値	100%	(H29年度)	
		実績値	0%	(H29年度)	
	向日市-2 配水池耐震施設率	当初現況値	55%	(H27年度)	予定の値を達成：運用停止予定の第2配水池を指標から除き、第1配水池(耐震施設)及び第3配水池(H28耐震化)の耐震化が完了。
		目標値	100%	(H29年度)	
		実績値	100%	(H29年度)	
	京丹後市-1 久美浜東部簡易水道事業における浄水施設等整備率	目標値	100%	(H28年度)	2年延長となったが、予定の値を達成。
		実績値	100%	(H30年度)	
	京丹後市-2 久美浜西部簡易水道事業における浄水施設等整備率	当初現況値	70%	(H28年度)	2年延長となったが、予定の値を達成。
		実績値	100%	(H30年度)	
	与謝野町-1 遠隔監視を再構築した浄水場数	当初現況値	47.1%	(H30年度)	予定の値を達成。
		実績値	100%	(H30年度)	
	与謝野町-2 浄水濁度の常時監視可能な浄水場数	当初現況値	76.5%	(H30年度)	予定の値を達成。
実績値		100%	(H30年度)		
III 評価指標以外の事業効果の発現状況 (必要に応じて記載)	【向日市】 浄水設備である浄水処理棟、急速ろ過池、酸化池及び配水池の老朽化対策・耐震化を実施することで、地震等の災害に対する市民生活の安全・安心の向上が図れた。				
	【京丹後市】 老朽化した施設を統合整備し、施設管理並びに経営の合理化が図れた。				

3. 今後の方針等

【向日市】引き続き浄水施設の耐震化を進め、令和元年を目途に基幹水道構造物の耐震化を完了し、災害等緊急時における給水拠点確保の水準を高める。
【京丹後市】簡易水道事業は令和元年度に上水道事業へ事業統合しており、今後は上水道事業として運営する中で、計画的に耐震化等を進める。
【与謝野町】引き続き、遠隔監視システムを活用して、施設の運転管理及び監視水準を維持しながら、効率的な浄水場の維持管理により費用の削減を図り、経営の効率化を進める。

生活基盤施設耐震化等交付金 事後評価書（平成30年度評価実施分）

1. 交付対象事業の進捗状況

水道施設等耐震化事業 計画期間：H27～R1												
事業主体 (水道事業者)	事業箇所 (市町村)	事業内容	事業期間					総事業費 (千円)	交付対象事業費 (千円)	交付額 (千円)	進捗状況	備考
			H27	H28	H29	H30	R1					
11 東大浦簡易水道	舞鶴市	計画	＜簡易水道再編推進事業 東大浦簡易水道統合整備＞ 田井、成生、野原簡易水道を上水道に統合し、大山地区の未普及地域を解消する。 降雨時の水質悪化や渇水期の水源枯渇、設備の経年劣化などの課題を解消し、安心して安全な水道水の安定供給を確保し、生活改善を図る。 配水池 2箇所、加圧ポンプ所 1箇所、減圧水槽 2箇所、送配水管布設 1,430m					228,000	220,000	88,000	完了	配水池の建設場所の変更による基礎構造等の見直しや、事業期間の延期、歩掛の改定に伴い、交付対象事業費が増額となった。
		実績	上記事業について、計画区間の配水池、ポンプ所、減圧水槽、送配水管布設を実施した。					276,258	255,800	102,320		
12 西簡易水道	舞鶴市	計画	＜簡易水道再編推進事業 西地区簡易水道統合整備＞ 上根寺田、岸谷、吉田、青井、白衫簡易水道等を上水道に統合する。 降雨時の水質悪化や渇水期の水源枯渇、設備の経年劣化などの課題を解消し、安心して安全な水道水の安定供給を確保し、生活改善を図る。 配水池 1箇所、加圧ポンプ所築造 1箇所、配水池機械電気設備 一式、ポンプ所機械電気設備 一式、送配水管布設 3,197m					349,400	330,000	132,000	完了	道路管理者との協議により路面復旧面積が増工したことや、事業期間の延期、歩掛の改定に伴い、交付対象事業費が増額となった。
		実績	上記事業について、計画区間の配水池、ポンプ所、送配水管布設を実施した。					427,616	401,865	160,746		
13 瀬崎簡易水道	舞鶴市	計画	＜生活基盤近代化事業 瀬崎簡易水道増補改良＞ 降雨時において水質悪化（濁度、色度）が発生し、安定した給水の確保が困難になっている。 平成26年度に施工した膜ろ過設備本体の設置に引き続き、本体に付随する電気計装設備を設置し、安心して安全な水道水の安定供給を確保し、生活改善を図る。 電気計装設備 1式					9,000	8,000	2,000	完了	
		実績	上記事業について、平成26年度の膜ろ過設備設置に伴う、電気計装設備工事を実施した。					8,162	7,312	1,828		
14 桑飼簡易水道	舞鶴市	計画	＜生活基盤近代化事業 桑飼簡易水道水量拡張＞ 小原地区の未普及地域を解消するため、安心して安全な水道水の安定供給を確保し、定住環境向上を図る。 区域拡張に伴い増加する水量を確保するため、水源、配水池を増設する。 さく井 2井、配水池築造 1箇所、機械電気設備 一式					52,000	52,000	13,000	完了	
		実績	上記事業について、計画地区のさく井工、配水池築造を実施した。					38,576	38,376	9,594		
18 千歳簡易水道	亀岡市	計画	＜簡易水道再編推進事業 千歳簡易水道統合整備＞ 亀岡市内にある5つの簡易水道事業を上水道事業に統合し、事業基盤の強化を図る。 千歳簡易水道事業では、上水道との施設統合に向けて、上水道の浄水場から浄水を送るための送水施設を整備する。加圧ポンプ 1ヶ所、送水管847m。					152,600	142,900	35,725	完了	
		実績	計画どおり送水管及び加圧ポンプを整備し、付帯施設を設置した。					170,291	153,140	38,285		
19 保津簡易水道	亀岡市	計画	＜簡易水道再編推進事業 保津簡易水道統合整備＞ 亀岡市内にある5つの簡易水道事業を上水道事業に統合し、事業基盤の強化を図る。 保津簡易水道事業では、上水道との施設統合に向けて、上水道の浄水場から浄水を送るための送水施設を整備すると共に、老朽化した配水管を更新・耐震化する。送水管713m、配水管4,610m。					270,300	251,600	62,900	完了	
		実績	計画どおり送水管及び付帯施設を整備し、配水管を更新・耐震化した。					322,657	258,068	64,517		
20 犬甘野簡易水道	亀岡市	計画	＜簡易水道再編推進事業 犬甘野簡易水道統合整備＞ 亀岡市内にある5つの簡易水道事業を上水道事業に統合し、事業基盤の強化を図る。 犬甘野簡易水道事業では、統合に向けた施設整備として、老朽化した導水管・送水管・配水管3,740mを更新し、付帯施設を整備する。					119,800	110,100	36,700	完了	
		実績	計画どおり導水管・送水管・配水管を更新し、付帯施設を整備した。					110,362	100,287	33,429		
21 柚原簡易水道	亀岡市	計画	＜簡易水道再編推進事業 柚原簡易水道統合整備＞ 亀岡市内にある5つの簡易水道事業を上水道事業に統合し、事業基盤の強化を図る。 柚原簡易水道事業では、統合に向けた施設整備として、老朽化した取水・浄水・送水施設及び配水管2,895mを更新すると共に、遠隔監視装置を整備する。					192,610	177,210	59,070	完了	
		実績	計画どおり取水ポンプ・送水ポンプ・配水管等を更新し、遠隔監視装置を整備した。					179,742	158,637	52,879		
26 園部簡易水道	南丹市	計画	＜簡易水道再編推進事業 園部簡易水道統合整備＞ 給水や経営の基盤が脆弱な一部の簡易水道地区全統合することで、当該地区における安定供給を図るものである。送水管布設（約6,000m）及び加圧ポンプ室(3基)築造をする。					723,350	398,146	159,258	完了	
		実績	上記事業計画通り、送水管布設及び加圧室築造し、安定した供給が可能となった。					728,473	374,648	149,859		
29 木津川市水道	木津川市	計画	＜基幹水道構造物の耐震化事業(改築・更新)＞ 基幹水道構造物である山城高区配水池の耐震化を実施し、災害に強い施設を造る。					301,934	64,000	21,332	完了	
		実績	上記事業において、配水池の耐震化を実施した。					439,548	63,997	21,318		
32 丹波・瑞穂簡易水道	京丹波町	計画	＜簡易水道再編推進事業(丹波・瑞穂)＞ 水道施設の耐震化を行うことにより、災害発生時にも安定した水道水の供給を行うため、高度浄水処理施設、加圧ポンプ場、配水管の整備を行う。					403,901	176,954	58,984	完了	
		実績	上記事業について、計画区間の配水管の布設及び施設の整備を実施した。					376,108	151,761	50,587		
33 和知簡易水道	京丹波町	計画	＜簡易水道再編推進事業(和知)＞ 水道施設の耐震化を行うことにより、災害発生時にも安定した水道水の供給を行うため、配水管の整備を行う。					210,200	195,571	78,228	完了	
		実績	上記事業について、計画区間の配水管の布設及び施設の整備を実施した。					216,450	158,351	63,340		

2. 事業効果の発現状況、評価指標の発現状況

I 事業効果の発現状況	【舞鶴市】計画に沿ってポンプ所や配水池、送配水管の布設など必要な水道施設を整備し、簡易水道の上水道への統合、水道未普及地域の解消を実施した。また、膜ろ過設備設置に伴う電気計装設備工や、さく井工、配水池築造等を実施し、水道水の安定供給が確保でき、生活改善が図れた。この結果、計画より1年延期となったが、簡易水道事業の上水道への統合および水道未普及地区数の目標値を達成した。				
	【亀岡市】全ての簡易水道事業において、上水道事業との統合に向けた施設整備が完了した。				
	【南丹市】計画に沿って、天引、大河内、法京の3事業を上水道事業に統合した。水源取水不足にある3地域に、船阪浄水場の浄水を給水することで、安定給水が出来た。				
	【木津川市】計画に沿って、老朽化による劣化が著しかった山城高区配水池を新たにステンレス製にて築造し、山城地区における配水池耐震化率が73%となった。				
	【京丹波町】計画に沿って約4kmの耐震管布設を実施し、耐震適合率の目標値を達成。				
II 評価指標の達成状況	指標	目標及び実績		達成評価(又は目標値と実績値に差が生じた原因)	
	舞鶴市-1 舞鶴市域における簡易水道事業数	当初現況値	19地区	(H27年度)	管路埋設工事にあたり、道路改良事業者との工程調整に想定外の期間を要したため、1年延長となったが、予定の値を達成した。 ※【H27年度当初】未普及地区数：5地区 【H29年度末】未普及地区数：4地区。
		目標値	0地区	(H28年度)	
		実績値	0地区	(H29年度)	
	舞鶴市-2 舞鶴市域における未普及地区数	当初現況値	5地区	(H27年度)	用地取得にあたり地権者との用地境界協議に想定外の期間を要したため、1年延長となったが、予定の値を達成した。
		目標値	4地区	(H28年度)	
		実績値	4地区	(H29年度)	
	亀岡市-1 亀岡市内に存在する水道事業等の数	当初現況値	7	(H27年度)	1年延長となったが、予定の値を達成した。(上水道事業・小泉飲料水供給施設)
		目標値	2	(H28年度)	
		実績値	2	(H29年度)	
	南丹市-1 南丹市域における簡易水道事業数	当初現況値	2	(H28年度)	1年延長となったが、予定の値を達成した。
		目標値	0	(H28年度)	
		実績値	0	(H29年度)	
	南丹市-2 南丹市域における飲料水供給施設数	当初現況値	1	(H28年度)	1年延長となったが、予定の値を達成した。
		目標値	0	(H28年度)	
実績値		0	(H29年度)		
木津川市-1 木津川市水道事業における配水池耐震化率 (耐震化対策のされている配水池容量/配水池総容量)	当初現況値	0%	(H27年度)	予定の値を達成 山城地区の総配水池容量(高区+低区+神童子)2,320㎡のうち、今回更新した配水池容量が1,700㎡である。	
	目標値	73%	(H30年度)		
	実績値	73%	(H29年度)		
京丹波町-1 京丹波町簡易水道事業における管路の耐震適合率 (耐震管延長/管路総延長)	当初現況値	8.3%	(H28年度)	1年延長となったが、予定の値を達成した。 【平成28年度当初】管路総延長 497,323m、うち耐震適合管 41,693m 【平成29年度末】管路総延長 474,249m、うち耐震適合管 45,823m	
	目標値	9.0%	(H28年度)		
	実績値	9.6%	(H29年度)		
III 評価指標以外の事業効果の発現状況 (必要に応じて記載)	【舞鶴市】事業実施地区では、これまで降雨時の高濁度や渇水期の水源枯渇、施設の老朽化などの課題があったが、必要な水道設備を整備したことにより、安心で安全な水道水の安定供給が確保でき、定住環境の向上を図ることができた。				
	【亀岡市】老朽化した管路が耐震管に更新されると共に、施設の運転状況を常時監視できるようになり、安全性が向上した。 3つの簡易水道(川東・千歳・保津)が上水道と施設統合したため、施設の維持管理費の削減と上水道の既存施設の利用率向上につながった。				
	【木津川市】今回、配水池は2池式で1池のみに緊急遮断弁が設置されており、地震等の災害時には、緊急遮断弁により1池分の水量(850㎡)が確保され、場内の消火栓を用い応急給水可能な体制を確保している。また、もう1池分は災害時に火災等の発生も想定されるため、山城町域の消火栓が使用できるよう、遮断弁を設けず通常通り配水する体制を確保している。				
	【京丹波町】浄水場系統をつなぐ連絡管の整備により災害時において応援給水可能なエリアが確保できた。				

3. 今後の方針等

【舞鶴市】 今後は配水本管等の老朽管の布設替えを重点的に実施することで耐震化等を進め、安心で安全な水道水の安定供給の確保につなげる。
【亀岡市】 今回の統合により、飲料水供給施設を除く市内の水道事業が一本化され、将来に向けた経営基盤が整った。これを機に、計画的な資産管理及び官民連携も含めた業務の効率化に取り組み、人口減少と水需要の減少にも耐える経営を実現する。
【南丹市】 導水管や配水管管路及び施設の耐震化を進める。
【木津川市】 今回築造した配水池は、山城地区全体を賄える容量であるため、将来的には現在の3配水池(高区・低区・神童子)を今回築造した配水池のみとし、配水池耐震化率100%となる計画である。
【京丹波町】 引き続き町内の耐震適合率の向上を目的に拠点病院・避難施設等(重要給水施設)への配水管の耐震化とともに、町としての重要管路の耐震化を進めていき、配水管の耐震化率を平成36年度末に15.8%とする。

生活基盤施設耐震化等交付金 事後評価書（平成29年度評価実施分）

1. 交付対象事業の進捗状況

水道施設等耐震化事業		計画期間：H27～R1		事業期間						事業費 (千円)	全体交付額 (千円)	進捗状況	備考
事業主体 (水道事業者)	事業箇所 (市町村)	事業内容		H27	H28	H29	H30	R1					
1 京北中部簡易水道	京都市	計画	京都市簡易水道統合事業（京北中部地域水道再整備事業）						4,642,656	1,547,552	完了	H28要望時事業費 5,492,565千円	
		実績	京都市簡易水道統合事業（京北中部地域水道再整備事業）						4,642,656	1,547,552			
2 中川・小野郷簡易水道	京都市	計画	中川・小野郷地域水道整備事業（京都市中川・小野郷統合簡易水道）						304,716	101,572	完了	H28要望時事業費 421,587千円	
		実績	中川・小野郷地域水道整備事業（京都市中川・小野郷統合簡易水道）						304,716	101,572			
5 京都市水道	京都市	計画	ちんでん地、浄水池等耐震化事業（京都市基幹水道構造物の耐震化事業）						62,622	20,874	完了	H28要望時事業費 91,314千円	
		実績	ちんでん地、浄水池等耐震化事業（京都市基幹水道構造物の耐震化事業）						62,622	20,874			
7 京都市水道	京都市	計画	緊急遮断弁（京都市緊急遮断弁）						31,644	79,111	完了	H28要望時事業費 50,004千円	
		実績	緊急遮断弁（京都市緊急遮断弁）						17,780	4,445			
6 京都市水道	京都市	計画	水道管路緊急改善事業（京都市水道管路緊急改善事業）						21,891,729		継続	H28要望時事業費 899,794千円	
		実績	水道管路緊急改善事業（京都市水道管路緊急改善事業）										
3 京都市水道	京都市	計画	緊急時用連絡管（京都市緊急時用連絡管）						1,926,556		継続	H28要望時事業費 1,997,028千円	
		実績	緊急時用連絡管（京都市緊急時用連絡管）										
9 福知山市水道	福知山市	計画	送水管の更新（福知山市水道管路緊急改善事業）						401,860		継続	H28要望時事業費 353,360千円	
		実績	送水管の更新（福知山市水道管路緊急改善事業）										
13 瀬崎簡易水道	舞鶴市	計画	瀬崎簡易水道増補改良事業（瀬崎簡易水道増補改良事業）						18,312	4,578	完了	H28要望時事業費 19,192千円	
		実績	瀬崎簡易水道増補改良事業（瀬崎簡易水道増補改良事業）						18,312	4,578			
14 桑飼簡易水道	舞鶴市	計画	桑飼簡易水道水量拡張事業（舞鶴市桑飼水量拡張）						44,040	11,010	完了	H28要望時事業費 62,376千円	
		実績	桑飼簡易水道水量拡張事業（舞鶴市桑飼水量拡張）						38,376	9,594			
11 東大浦簡易水道	舞鶴市	計画	舞鶴市簡易水道統合事業（東大浦地区簡易水道統合整備事業）						662,040		継続	H28要望時事業費 681,120千円	
		実績	舞鶴市簡易水道統合事業（東大浦地区簡易水道統合整備事業）										
12 西簡易水道	舞鶴市	計画	舞鶴市簡易水道統合事業（西地区簡易水道統合整備事業）						1,110,905		継続	H28要望時事業費 1,139,560千円	
		実績	舞鶴市簡易水道統合事業（西地区簡易水道統合整備事業）										
16 東八田簡易水道	綾部市	計画	配水管基幹改良（東八田簡易水道統合整備事業）						829,120	276,373	完了	H28要望時事業費 827,545千円	
		実績	配水管基幹改良（東八田簡易水道統合整備事業）						827,545	275,847			
17 山家西簡易水道	綾部市	計画	配水管基幹改良（山家西簡易水道事業）						1,067,298		継続	H28要望時事業費 1,080,078千円	
		実績	配水管基幹改良（山家西簡易水道事業）										
20 犬甘野簡易水道	亀岡市	計画	亀岡市簡易水道統合事業（亀岡市犬甘野簡易水道統合整備事業）						104,427	34,809	完了	H28要望時事業費 104,427千円	
		実績	亀岡市簡易水道統合事業（亀岡市犬甘野簡易水道統合整備事業）						100,287	33,429			
18 千歳簡易水道	亀岡市	計画	亀岡市簡易水道統合事業（亀岡市千歳簡易水道統合整備事業）						186,968		継続	H28要望時事業費 182,228千円	
		実績	亀岡市簡易水道統合事業（亀岡市千歳簡易水道統合整備事業）										
19 保津簡易水道	亀岡市	計画	亀岡市簡易水道統合事業（亀岡市保津簡易水道統合整備事業）						294,308		継続	H28要望時事業費 265,744千円	
		実績	亀岡市簡易水道統合事業（亀岡市保津簡易水道統合整備事業）										
21 柚原簡易水道	亀岡市	計画	亀岡市簡易水道統合事業（亀岡市柚原簡易水道統合整備事業）						150,975		継続	H28要望時事業費 177,210千円	
		実績	亀岡市簡易水道統合事業（亀岡市柚原簡易水道統合整備事業）										
22 向日市水道	向日市	計画	基幹構造物の耐震化事業（向日市基幹水道構造物の耐震化事業）						98,154		継続	H28要望時事業費 107,676千円	
		実績	基幹構造物の耐震化事業（向日市基幹水道構造物の耐震化事業）										
23 向日市水道	向日市	計画	老朽管更新事業（向日市老朽管更新事業）						634,084		継続	H28要望時事業費 690,508千円	
		実績	老朽管更新事業（向日市老朽管更新事業）										
24 久美浜東部簡易水道	京丹後市	計画	京丹後市簡易水道統合事業（久美浜東部統合簡易水道事業）						645,819		継続	H28要望時事業費 643,401千円	
		実績	京丹後市簡易水道統合事業（久美浜東部統合簡易水道事業）										
25 久美浜西部簡易水道	京丹後市	計画	京丹後市簡易水道統合事業（久美浜西部統合簡易水道事業）						2,336,391		継続	H28要望時事業費 2,328,644千円	
		実績	京丹後市簡易水道統合事業（久美浜西部統合簡易水道事業）										
26 園部簡易水道	南丹市	計画	南丹市簡易水道統合事業（南丹市園部簡易水道統合事業）						624,278		継続	H28要望時事業費 616,522千円	
		実績	南丹市簡易水道統合事業（南丹市園部簡易水道統合事業）										
28 瓶原簡易水道	木津川市	計画	配水池の耐震化（瓶原地区簡易水道事業）						1,089,450	363,150	完了	H28要望時事業費 1,056,903千円	
		実績	配水池の耐震化（瓶原地区簡易水道事業）						1,032,600	344,200			
29 木津川市水道	木津川市	計画	配水池の耐震化（木津川市基幹水道構造物の耐震化事業）						301,934		継続	H28要望時事業費 301,934千円	
		実績	配水池の耐震化（木津川市基幹水道構造物の耐震化事業）										
30 久御山町水道	久御山町	計画	重要給水施設配水管（久御山町重要給水施設配水管）						636,752		継続	H28要望時事業費 654,551千円	
		実績	重要給水施設配水管（久御山町重要給水施設配水管）										
31 和東中央簡易水道	和東町	計画	和東町簡易水道統合事業（和東町和東中央統合簡易水道）						488,711		継続	H28要望時事業費 355,194千円	
		実績	和東町簡易水道統合事業（和東町和東中央統合簡易水道）										
32 丹波・瑞穂簡易水道	京丹波町	計画	京丹波町簡易水道統合事業（丹波・瑞穂統合簡易水道整備事業）						10,025,602		継続	H28要望時事業費 8,743,041千円	
		実績	京丹波町簡易水道統合事業（丹波・瑞穂統合簡易水道整備事業）										
33 和知簡易水道	京丹波町	計画	京丹波町簡易水道統合事業（和知簡易水道事業）						4,470,138		継続	H28要望時事業費 3,442,486千円	
		実績	京丹波町簡易水道統合事業（和知簡易水道事業）										
36 京都府用水供給	京都府	計画	沈殿地等の耐震化事業（京都府基幹水道構造物の耐震化事業）						2,474,860	824,950	完了	H28要望時事業費 2,548,962千円	
		実績	沈殿地等の耐震化事業（京都府基幹水道構造物の耐震化事業）						2,474,860	824,950			
37 京都府用水供給	京都府	計画	送水管の更新事業（京都府水道管路緊急改善事業）						6,494,018		継続	H28要望時事業費 6,842,220千円	
		実績	送水管の更新事業（京都府水道管路緊急改善事業）										
合計									64,050,367	3,263,979			
									9,519,754	3,167,041			

2. 事業効果の発現状況、評価指標の発現状況

I 事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易水道再編推進事業の実施により、簡易水道の統合が図られ、小規模水道事業者の運営基盤の強化が図られた。</li> <li>・浄水施設の耐震化により、災害時の水道水供給能力の確保が図られた。</li> </ul>			
II 評価指標の達成状況	京都市-7 京都市簡易水道事業における配水管整備率 (整備した配水管延長/配水管整備総延長)	指標	当初現況値 0% (H26年度)	達成評価(又は目標値と実績値に差が生じた原因)
		目標値 100% (H28年度)	予定の値を達成	
		実績値 100% (H28年度)		
	京都市-6 京都市簡易水道事業における連絡配水管整備率 (整備した連絡配水管延長/連絡配水管整備総延長)	当初現況値 0% (H26年度)	予定の値を達成	
		目標値 100% (H28年度)		
		実績値 100% (H28年度)		
	京都市-1 京都市水道事業における浄水施設耐震率 (耐震対策の施されている浄水施設能力/全浄水施設能力)	当初現況値 25.7% (H26年度)	予定の値を達成	
		目標値 50.6% (H28年度)		
		実績値 50.6% (H28年度)		
	京都市-2 京都市水道事業における緊急遮断弁設置率 (緊急遮断弁設置済池数/緊急遮断弁設置目標池数)	当初現況値 92.9% (H26年度)	予定の値を達成	
		目標値 100% (H28年度)		
		実績値 100% (H28年度)		
	木津川市-2 瓶原簡易水道事業における舗装面積 (舗装した面積/整備が必要な面積)	当初現況値 0% (H28年度)	予定の値を達成	
		目標値 100% (H28年度)		
実績値 100% (H28年度)				
府営水道-1 府営水道事業における浄水施設耐震率 (耐震対策の施されている浄水施設能力/全浄水施設能力)	当初現況値 0% (H19年度)	目標値を達成		
	目標値 100% (H28年度)			
	実績値 100% (H28年度)			

3. 今後の方針等

- ・統合期限である平成31年度末まで、簡易水道再編推進事業を引き続き推進し、小規模水道事業者の運営基盤の強化を図ります。
- ・計画的な耐震対策や施設更新を推進するため、耐震化計画やアセットマネジメントに基づく優先度の高い事業を重点的に支援します。
- ・災害時においても優先度の高い施設への水道水の供給を確保するため、重要給水施設への供給ラインの耐震性を確保します。